

「実践授業勉強会」「教職体験発表会」

～先輩から後輩へのメッセージ～

菅野 治 恵

要 旨

教職課程センターでは、志願書添削、教員養成塾、面接指導、論作文指導等を行い、学生を支援している。4年生は教員採用選考試験後、4月から自信をもって教師としての第一歩が踏み出せるよう授業研究を中心とした「実践授業勉強会」を実施している。そして2月に「実践授業勉強会」の成果発表と教員採用選考試験に向けてのアドバイス等を後輩に伝える会「教職体験発表会」を企画・運営する。「教職体験発表会」は「先輩から後輩へのメッセージ」を伝える会である。ここに、5年間の「実践授業勉強会」と「教職体験発表会」の内容をまとめ報告する。

キーワード：実践授業勉強会 教職体験発表会、教員採用選考試験、教育実習、後輩へのメッセージ

1. はじめに

4年生の「実践授業勉強会」は、「言語活動の充実」「主体的・対話的で深い学びの授業」「情報機器の活用」等毎年テーマを決め、授業研究を中心とした勉強会であり、「教職体験発表会」は、「実践授業発表会」の成果と4年間教職にどのように取り組んできたか発表する機会である。会は毎年2月に実施し、参加者も年々増加している。「教職体験発表会」で4年生は模擬授業を行うと共に、教育実習や採用選考試験について丁寧に説明し心構えや体験を後輩に話している。また、集団討論、面接等を演示してアドバイスする。「教職体験発表会」は4年生が全て企画・運営を行い、その中で達成感や仲間とのチームワーク、後輩への支援の大切さを学び後輩からの感謝の言葉に喜びと充実感を味わっている。

ここでは5年間継続している、4年生が自信をもって教師として第一歩が踏み出せるよう学んでいる「実践授業勉強会」と「教職体験発表会」で

の発表内容、参加者の感想、4年生の学びと感想をまとめた。

2. 「実践授業勉強会」「教職体験発表会」について

2-1 第1期（平成29年10月～30年2月）

学習指導要領や解説を基に授業について学ぶ実践授業勉強会⁽¹⁾⁻⁽¹⁵⁾では、数学、理科、特別の教科道徳について模擬授業を行い研究協議を通して、「主体的・対話的で深い学びの授業」について学んだ。またレポート発表を行い、学習指導要領の趣旨や各教科の解説の内容について理解を深めた。レポートのテーマの一部を下記に示す。

・「数学を好きにする授業力」とはどのような実践か。

・[私の目指す授業]について

・S市立S中学校 全体計画、年間指導計画 から学ぶ

・指導案から学ぶ「思考力・判断力・表現力」を

育成する授業について

- ・学習指導案検討（主体的・対話的で深い学び）
- ・新旧対照表による新学習指導要領理解
- ・配布資料「主体的・対話的で深い学び」作成

第1回「教職体験発表会」平成30年2月

発表者9名 参加者20名

発表内容とテーマは下記の通りである。

- ・教職体験発表
「教員採用選考試験について」
「複数県受験する時の注意点」
「教育実習について」
- ・資料解説
「主体的・対話的で深い学びの授業について」
- ・質疑応答

4年生の学びと感想

・経験が、教員採用選考試験を受験する後輩の参考になればと思い発表しました。質問も多く、後輩の意欲を感じました。「ありがとう」のたくさんの言葉をもらい、会が伝統となり後輩に引き継がれると良いと思いました。

・教職課程センターの第1期生として教職課程センターで学べたことを幸せだと思います。一人ではなく、先生や仲間と一緒に学び教育について考えが組み立てられ、意欲づけもできました。

・後輩からの感謝の言葉をもらい、とても嬉しかったです。先生や仲間と教育について討論し、授業を行い、本当に深く学べた時間です。教職課程センターの開設に心から感謝しています。

・説明することにより自分自身の理解も深まり、実践授業勉強会では資料を深く読み込み、他の人の意見を聞き考えが深まりました。

・一緒に学んだ仲間は志を同じくする大切な仲間です。いつも新鮮な驚きと学びがありました。

教職への不安がありましたが、一生懸命学んだことが、出発時の心強さになりました。

2-2 第2期（平成30年10月～31年2月）

授業を通して学ぶ実践授業勉強会⁽¹⁾⁻⁽¹⁵⁾では「言語活動の充実」をテーマに数学、理科、社会、特別の教科道徳等12回模擬授業を行い、研究協議を通して授業力を高めた。

レポートによる話し合いのテーマの一部を下記に示す。

- ・「良い授業」について
- ・マンダラチャートの活用
- ・思考のツールについて
- ・『教育の力』

第2回「教職体験発表会」平成31年2月15日

発表者9名 参加者20名

発表内容とテーマは下記の通りである。

- ・模擬授業「数学」
- ・教職体験発表
「『教育の力』を通して学んだこと」
「面接を受ける時大切なこと」
「集団討論について」
「論作文の書き方」

参加者の声

・不安が少し消えました。会に参加し、学んだ事を活かし日々コツコツ勉強していきます。

・今日の会に参加し、一層気合いが入りました。

・面接、論作文、集団討論など、とても丁寧に説明くださりありがとうございます。

・色々な対策の話を聞くことができ、とても参考になりました。ありがとうございました。

4年生の学びと感想

・模擬授業での多くの意見や質問、評価は私のモチベーションアップになりました。

・自分の中の思いや考えを言葉にすることで私自身がとても勉強になりました。後輩のためになれたら嬉しいです。後輩の皆さんは、今日のアドバイス等を参考に頑張ってください。

・全員合格を目指して教員になりたい気持ちを大切にしたいです。

2-3 第3期（令和元年10月～2年2月）

授業を通して学ぶ実践授業勉強会⁽¹⁾⁻⁽¹⁵⁾では「言語活動の充実」をテーマに数学、理科、社会、保健体育、特別の教科道徳等、17回の模擬授業と研究協議を行い授業力を磨いた。

第3回「教職体験発表会」令和2年2月17日

発表者9名 参加者30名

発表内容とテーマは下記の通りである。

- ・模擬授業
「中学校社会」「中学校理科」「高等学校数学」
- ・教職体験発表
「教員採用試験合格」
「城西大学大学院合格」
「教育系大学院合格」
「市役所合格」
「私立高等学校就職予定」

参加者の感想

- ・教員採用試験や大学院、その他のスケジュール等が具体的に想像できました。2次試験対策や受験日時の把握など、リアルな声を聞くことができ、貴重な体験になりました。
- ・改めて教職に対する意識が変わりました。様々な道に進まれる先輩方のお話を聞くことができ、視野が広がりました。教職課程センターをもっと活用していきます。
- ・先輩方の模擬授業の方法がとても参考になり、合格までの勉強方法や不合格の場合の対応についても知ることができ、勉強になりました。
- ・先輩方の話を聞いて、何をすべきなのかが明確になりました。自分一人では絶対に出来ないの、協力の重要性も改めて知りました。

4年生の学びと感想

- ・後輩のために自分の経験を語れて良かったです。企画・運営の経験も貴重な経験です。
- ・後輩にとって大切な時間になったと思います。伝えた事を活かして努力を重ねて欲しいです。
- ・伝えたいことは伝えられました。後輩が目標に向かい頑張ってくれています。同期が全員教員になって再会出来る日を楽しみにしています。
- ・楽しく授業ができました。みんなのモチベーションの高さを再確認でき、後輩の意欲も感じました。私も頑張ります。
- ・自分にとっても、後輩にとっても良い時間、学ぶ時間になりました。そして授業や伝え方を考える機会にもなりました。

2-4 第4期（令和2年10月～3年2月）

授業を通して学ぶ実践授業勉強会⁽¹⁾⁻⁽¹⁵⁾では、「主体的・対話的で深い学び」の授業をテーマに、数学、理科、社会、保健体育、特別の教科道徳等の模擬授業を18回実施した。

第4回「教職体験発表会」令和3年2月20日

発表者9名 参加者50名（オンライン参加含）

発表内容とテーマは下記の通りである。

- ・教職体験発表
「私の勉強方法・環境」
「受験自治体を知る」
「1次成功談、2次失敗談」
「教採と教職課程センター」
「部活との両立・面接について」
「早めの試験対策を」
「教採と大学院」
- ・集団討論（5人による集団討論の演示とアドバイス）
- ・模擬授業「中学校保健体育」「中学校数学」
志願書の書き方 指導者 教職課程センター
中村先生

参加者の感想

- ・全ての内容が、とても役に立つことでした。今コロナで人と接する機会がないため、励みになり、もっと頑張ろうと思いました。
- ・集団討論の様子を初めて見て様子が想像できました。また多くの体験談が聞けた貴重な時間でした。発表会に参加し本当に良かったです。
- ・採用選考試験の実体験が聞けたことで、不透明だった内容がよく分かりました。模擬授業では、何を大切にしていくか、伝えたいことがはっきりしていて、指導案も参考になりました。

4年生の学びと感想

- ・一人一人が楽しんで自分の体験が話せたと思います。下級生に色々な視点で情報提供できたので、良かったです。
- ・協力して良い発表会にできて良かったです。これからは、それぞれの場所で頑張らしましょう。
- ・細かい計画があり、とても素晴らしい会になったのだと思います。後輩のための会でしたが、自分のためにもなりました。みんなの生き方を参考にします。
- ・みんなの発表を聴き、こんなふうに勉強したのかと参考になりました。同じように悩み、克服していったこともよく分かりました。

2-5 第5期（令和3年10月～4年2月）

授業を通して学ぶ実践授業勉強会⁽¹⁾⁻⁽¹⁵⁾では「情報機器の活用」をテーマに模擬授業を18回実施し、授業力が向上した。

第5回 教職体験発表会 令和4年2月18日
発表者11名 参加者50名（オンライン参加含）
発表内容とテーマは下記の通りである。

- ・体験発表
「教育実習前・教員採用選考試験前にやっておくべきこと」

- 「教育実習で学ぶこと・心がけておくこと」
- 「部活と教採の両立」
- 「教員採用試験複数受験の留意点」
- 「私なりの教採対策法」
- 「就活から教職へ」
- 「茨城の教員採用選考試験について」
- 「公立学校と私立学校」
- 「大学院への進学について」
- ・場面指導（面接官役を学生が行い受験生は課題について3分間の場面指導の演示を行った。）
- ・集団討論（「校則について」6人で集団討論を行い、集団討論についてアドバイスした。）
- ・模擬授業「中学校理科」「中学校社会」

参加者の感想

- ・採用選考試験のことや教育実習について、詳しく知ることができ、イメージが持てました。今行うことが明確になり、準備をしていきます。貴重な体験談ありがとうございました。
- ・教育実習の話で、身が引き締まりました。良い時間が過ごせました。得たことを今後の自分に役立てるよう頑張っていきます。対面で会に参加し細かいことに気づけ、他者の意見を聞き、多くの事に学びました。
- ・下手な質問にも丁寧に答えてくださりありがとうございました。教採について、目で見、体感できた貴重な1日になりました。

4年生の学びと感想

- ・実践授業勉強会を通して、学部を超えて多くの意見を聞くことが出来、自分の考えと照らし合わせ確認したり、新たな発見ができたり「授業力」が向上しました。
- ・授業の準備、授業展開の工夫、生徒への関わり等、教員としての生き方が授業に繋がることを多くの模擬授業に参加して学びました。
- ・この会を通して、チームとして会を運営していくことの充実感を得ました。後輩への支援をする

ことの大切さを身に染みて感じました。

- ・教職を志して良かったなと思える会で、楽しかったです。今後も近況が話せたらと思います。
- ・この会に出会えたことは、奇跡だと思っています。自分の経験が後輩に伝えられて良かったです。城西大学で学んで良かったです。
- ・沢山の人に支えられて生きていることを実感。これからは誰かを支える存在になりたい。
- ・まとめ役として、人の上に立つことの重要性が良く分かりました。この経験を必ず将来に活かします。

3. 終わりに

第1回の教職体験発表会の参加者は、翌年4年生として第2回の教職体験発表会の企画・運営、発表を行った。以降2月実施の「教職体験発表会」は伝統となり、「先輩から後輩へのメッセージ」は引き継がれている。卒業生は、埼玉県、さいたま市、新潟県、茨城県、静岡県、長野県、千葉県、栃木県、岩手県、山形県、兵庫県等で中学、高等学校の教員になり活躍している。卒業生の城西大学の後輩への思いは強く、教職課程センターでの実践授業勉強会に参加し、「教育現場で求められる教師の姿」等を伝えたり、夏季休業を利用し集団討論の指導を行ったりして後輩を励まし続けてくれている。

教職体験発表会は、第3回から「パンフレット」を作成し、日程も1日で実施している。第4回と5回はコロナ禍での実施であり、オンラインで行った。オンラインでの質問も受け付け、丁寧に回答し、参加者は50名を超えた。

4年生の「実践授業勉強会」は、現在も模擬授業を中心にいき、理学部、経営学部、経済学部、現代政策学部と令和4年度は17名の4年生が参加し「ICTを活用した授業」をテーマに忌憚のない意見を出し合い、学生の「授業力」を向上させ

ている。過日の文部科学省の視察においては、理学部化学科の学生が、高等学校「化学」の模擬授業を行った。

教職課程センターでの「実践授業勉強会」「教職体験発表会」は、学部をこえ、教職を目指す学生が、仲間と共に考えを深め、教師としての自分をつくり上げていく時間、教育情報を交換し安心して学べる時間、教育について志を共有し、仲間との絆を深める時間、そして学びや後輩への思いを伝える喜びを実感できる時間である。「4年生での学びの時間が今の基礎をつくっている。」と話す卒業生もいる。

「学び続ける教師」を醸成する「授業実践勉強会」、そして学びと教職を目指す後輩へのメッセージを伝える第6回「教職体験発表会」の令和5年2月実施を目指し、4年生は教職課程センターで日々学びを継続している。

教職課程センター

第5回 教職体験発表会

教員を目指している方、必見です!!!

採用試験や教育実習での具体的な話を聞いてみたい方

教員を目指しているが何から手をつければよいかわからない方

採用試験や教育実習など、どうすればよいか不安な方

是非、お越しください!!!

日時 2022年2月18日(金) 10時30分～15時20分

会場 17号館 306教室

お気軽にご参加ください。

10:30 ～開会の挨拶	(司会) 教職課程センター 所長 北川 浩子 先生 4年生自己紹介
10:35 ～教職体験談	「教育実習前・教員採用試験前にやっておくべきこと」 「教育実習を通して学ぶこと・心がけておくこと」 「部活と教職との両立」 「教員採用試験複数受験の留意点」 「私なりの教採対策法」 「就活から教職へ」 「茨城の教員採用試験について」 「公立学校と私立学校」 「大学院への進学について」 ～質疑応答～
12:30 ～昼休み	
13:10 ～場面指導	
13:30 ～集団討論	～質疑応答～
14:00 ～休憩	
14:10 ～模擬授業	「中学理科<仕事>」 「中学社会<地理～ヨーロッパ州～>」 ～質疑応答～
15:10 ～閉会の挨拶	菅野 治恵 先生




※参加をご希望の方で、質問等ございましたら教職課程センターにお問い合わせください。
※対面での教職体験発表会を予定していますが、コロナ感染拡大状況により実施がオンライン等に変更になる場合は、Teamsでお知らせいたします。

図1 第5回教職体験発表会ポスター

参考文献

- (1) 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)』東山書房
- (2) 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説理科編』学校図書
- (3) 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説数学編』日本文教出版
- (4) 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説社会編』東洋館出版社
- (5) 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説保健体育』東山書房
- (6) 文部科学省『中学校学習指導要領(平成29年告示解説総則編)』東山書房
- (7) 文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)』東山書房
- (8) 文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説数学編 理数編』学校図書
- (9) 文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説理科編 理数編』実教出版株式会社
- (10) 文部科学省『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説総則編』東洋館出版社
- (11) 文部科学省 国立教育政策研究所
『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校理科』東洋館出版社
- (12) 『文部科学省 生徒指導提要』教育図書
- (13) 中央教育審議会『幼稚園, 小学校, 中学校, 高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)』平成28年12月21日
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf
- (14) 中央教育審議会『これからの学校教育を担う教員の資質・能力の向上について～学び合い, 高め合う教員養成コミュニティの構築に向けて』平成27年12月21日中央教育審議会
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/01/13/1365896_01.pdf
- (15) 中央教育審議会『チームとしての学校の在り方と今後の改善方策等について』平成27年12月21日
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2016/02/05/1365657_00.pdf